

## 第6回整備新幹線小委員会の概要

平成23年3月8日(水) 10:00~12:00

於：4階幹部会議室

(「収支採算性及び投資効果の確認に関するとりまとめ」に関する委員からの主な意見)

### 【収支採算性・投資効果について】

- ・ 需要予測結果の分析を行い、新幹線の整備による旅客流動の変化の特徴を整理してほしい。
- ・ コストダウンや今後の技術開発・新技術の導入による低コスト・高品質化への努力が必要。
- ・ 継続的見直しについてもとりまとめに盛り込むことが必要。

### 【技術的課題について】

- ・ 青函共用走行やフリーゲージトレイン等、技術的課題を整理すべきではないか。
- ・ 青函共用走行区間を当面140km/hとするのはやむを得ないが、新幹線の効果を高めるためには速度向上が必要。
- ・ 最高速度を260km/hから例えば300km/hにあげるとするのは既の実績があるが、青函共用走行区間の速度向上は実績がないため、同じ位置づけではない。
- ・ フリーゲージトレインについては経緯や代替手段も含め、客観的事実に基づいてどうあるべきかを整理するべき。

### 【その他】

- ・ 他の交通モードとの連携についてもとりまとめに盛り込んでどうか。
- ・ 沿線の自治体や関係者による、地域のポテンシャルを高めるような努力についてもとりまとめに盛り込んでどうか。
- ・ 学術的には誘発交通量を考慮するほうがより妥当。それを考慮しないことで、安全側・少なめの予測になっているのであって、誘発交通量を考慮することが過大であるというわけではないことに留意が必要。

(了)